

滋賀医大ニュースレター

Catch Up 滋賀医大

2011.10.11 第16号



今井 眞講師がイグ・ノーベル賞を受賞

H23.09.30

この度、本学精神医学講座の今井眞講師が6名の共同受賞者とともに2011年のイグ・ノーベル賞を受賞し、現地時間の29日の夜に米国マサチューセッツ州のハーバード大学で受賞式が行われました。イグ・ノーベル賞は人々を「笑わせ、そして考えさせた」研究に贈られ、近年その注目度が高まっています。

対象となった業績は「わさび」の刺激

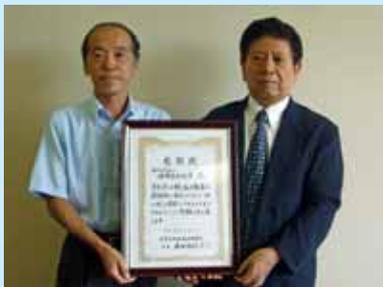
性臭気(イソチオシアン酸アリル: C₄H₅NS)を吸入した聴覚障害者と正常聴力者が睡眠から覚醒すること、覚醒に導く至適濃度が5 - 20PPMであることを明らかにし、聴覚障害者向けの警報装置を開発したことです。本研究は株式会社シームス、エア・ウォーター防災株式会社の協力により行われ、臭気発生警報装置および異常事態告知方法として特許を取得しました。



右手：火災報知機の作動部
左手：作動部内のわさび臭気

滋賀県献血推進協議会から本学へ感謝状が授与

H23.07.29



感謝状、学長、血回数177回の三四係長

このたび、本学の献血推進への積極的な協力に対し、滋賀県献血推進協議会(嘉田由紀子会長)から感謝状が授与されました。

本学は、この5年間に1,151名の教職員・学生が献血に協力し、特に昨年度は、職員114名、学生283名、計397名の多数が献血に協力しました。

医療人を育成する機関として、また医療人を目指す者として、献血への意識が高いことの現れだと思えます。献血された皆様に敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

なお、本学は平成12年にも金色有功章(献血活動歴20年以上)の表彰を受けております。

嘉田滋賀県知事が来院されました！

H23.07.15

- 第39回「おじゃまします！知事です」を本院で開催 -

7月15日(金)午後4時から、本院病院長室に嘉田滋賀県知事が訪問され、本院で開催されていた「平成23年度助産師キャリアアップ研修」の受講生と意見交換されました。

当日は、藤野看護部長の挨拶に続

き、嘉田知事から助産師の重要性について説明があり、続いて、助産師の役割や今後の助産師に求められること等について熱心に意見交換されていました。

本院からは、産科学婦人科学講座村上教授、藤野看護部長、中野看護師長、酒井副病院長、増田病院長補佐等が同席しました。



意見交換の様子

第5回がんプロ市民公開講座を実施

H23.07.02

平成19年度文部科学省「がんプロフェッショナル養成プラン」採択事業の一環として、一般市民の皆様ががん治療についての最新の知識を得ていただく機会を提供するために、さる7月2日に第5回市民公開講座を実施しました。

があり、来見教授が司会を務めるなか、谷教授の挨拶のあと、梅田特任講師、張助教による「乳がん・甲状腺がん - 早期発見で小さな手術 - 」についての講演が行われました。参加者は熱心に耳を傾けるとともに、活発な質疑応答が交わされました。



講演の様子

当日は猛暑のなか、136名の参加

宮城県石巻市へ本学医療支援チーム(Cチーム)を派遣

H23.07.05



派遣メンバー



出発の様子

本学は、国立大学協会及び国立大学附属病院長会議からの要請を受け、7月5日(火)に、医師1名(龍神 慶)、看護師1名(西川 誠人)、事務職員1名(長谷川 浩一)の3名で編成する医療支援チーム(Cチーム)を宮城県石巻市大街道地区へ派遣しました。

現地では、石巻赤十字病院を拠点に、各避難所を巡回して診療活動を行ない、7月10日(日)に帰学する予定です。

附属病院で七夕の飾り付けを行いました

H23.07.07

滋賀医科大学医学部附属病院では、6月30日から7月7日まで七夕の飾り付けを行いました。

今年度は院内再開発のため、1F エレベータホール・2F 外来通路・3F 患者待合コーナーの3カ所に分散設置になりました。例年の3本立ての豪華さはないものの、季節感の演出や願い事を想う癒しの時間は提供することができました。短冊は病棟分と合わせて958枚で萱野神社に奉納いたしました。



色鮮やかな七夕飾り



たくさんの願いが込められています

滋賀医科大学学外有識者会議を開催

H23.07.08



会議の様子



馬場学長の挨拶

7月8日(金)、滋賀医科大学学外有識者会議を開催し、9名の委員にご出席いただきました。

会議では、学長挨拶の後、議長として井村 裕夫委員(先端医療振興財団理事長)が選出されました井村議長の進行のもと、学長から第1期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果と本学の活動状況について、服部理事から教育・研究面、柏木理事が診療面と東日本大震災の被災地域への医療支援について、村山理事から経営等について、谷川理事から総務・人事等について説明を行いました。

各委員から、法人評価のあり方と問題点及び絶対評価と相対評価について、東近江医療圏での地域医療再生計画に係る同地域の反応と他の地域からの要請について、地域を支える医療人育成の取り組みの成果についてなど、様々なご意見・提言をいただき、活発な会議となりました。

なお、会議終了後、本学栄養治療部等の開発による、滋賀県産食材を使った地産地消の食品による、お弁当やパウンドケーキなどをご試食いただきました。

第10回教養講座を開催しました。

H23.07.09

7月9日(土)に看護学科棟・看護第一講義室において第10回目となる平成23年度の教養講座を開催しました。

当日は、近畿地方の梅雨明け発表後、初めての週末で、気温は大津で35.1度と今年初の猛暑日となったにもかかわらず、86名と多くの方にご参加いただきました。

テーマは「中高年の方が悩まれる病

気」と題し、前半は、整形外科・川崎拓 講師から「中高年の膝の痛み」として、変形性膝関節症、関節リウマチ、人工関節を中心に講演いただき、後半は、眼科・川村 肇 講師から「中高年の眼の病気」として、加齢性黄斑変性、糖尿病網膜症を主な話題に講演いただきました。

参加の皆様にはいずれも熱心に聴講いただき、各講演後の質問も時間制限をせざるを得ない活発な講座となりました。



講演の様子

本学医療支援チーム(Cチーム)が活動を終えて帰学

H23.07.10



帰学の様子



活動の様子

国立大学協会及び国立大学附属病院長会議からの要請により、7月5日(火)から10日(日)までの6日間、本学の医師1名(龍神 慶)、看護師1名(西川 誠人)、事務職員1名(長谷川 浩一)で編成する医療支援チーム(Cチーム)を宮城県石巻市へ派遣しました。

現地では、石巻赤十字病院を活動拠点に、石巻市立湊小学校内の診療所に滞在し、被災患者に対し診療活動を行いました。

役員と報道機関との懇談会が行われました

H23.07.12

滋賀県内に支社等を置く報道機関から9名の出席を得て、本学役員との懇談会を開催しました。

懇談会では、馬場学長から第1期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について、良い成績を収められた事の説明があり、引き続き各役員から本学の教育・研究、附属病院、財務・自己点検評価、その他業務運営に係る事項について説明を行い、更に、東日本大震災の被災地域への医療支援について、柏木病院長から説明を行いました。

各報道機関からは、役員からの説明を受け、「里親のイメージ」、「東近江地域への医療支援」、「地域枠の導入による影響」、「滋賀医科大学の特徴」といった質問がありました。

懇談会終了後は、本学栄養治療部等の開発による、滋賀県産食材による地産地消の食品を使ったお弁当やパウンドケーキなどを試食して頂きました。

懇談会終了にあたり、学長から本学の良さを地域の方に伝えきれていないことから、今後も継続的にこのような場を設けられるよう希望している旨の説明がありました。



馬場学長からの挨拶

福島県へ本学スクリーニング(放射線量測定)チーム2を派遣

H23.07.13



馬場学長からの挨拶

本学は、文部科学省からの要請を受け、7月13日(水)から17日(日)までの5日間、放射線技師1名(福島英人)、技術職員1名(飯島 圭)の2名で編成するスクリーニング(放射線量測定)チーム2を福島県へ派遣しました。

現地では、福島県庁を拠点に各会場を巡回し、一時帰宅者に対してスクリーニングを行なう予定です。

京都教育大学附属高等学校を訪問

H23.07.14

去る7月14日京都市伏見区の京都教育大学附属高等学校を訪問し、医学科または看護学科志望の生徒(17名)を対象に、医学科木村博教授及び看護学科宮松教授から本学の概要及びカリキュラム等、また、学生課入試室からは入試者選抜にかかる説明を行いました。

本学では入試にかかる広報活動の一環として、高校訪問による入試説明会を、両学科教員の協力を得て、平成23年度は滋賀県内14校及び京都市内5校の高等学校を訪問します。



木村博教授の説明の様子

東大津高校との高大連携講座を実施

H23.07.12,14



瀧川学科長の講義

7月12日(火)・14日(木)の両日、看護学科棟の講義室において東大津高校との高大連携講座を実施しました。

この講座は、今年度滋賀県教育委員会が「確かな自己実現支援事業」として指定している事業の一環で、同校の1・2学年の生徒で、看護系大学進学希望者21名が、教頭他教諭の先生方に引率され徒歩で受講に来ました。

二日とも、服部副学長から歓迎のご挨拶をいただいた後、講師担当の看護学科のお二人の先生方から約1時間にわたって講義いただきました。

初日(7月12日)は、臨床看護学講座(精神)の瀧川学科長・教授から「ストレスとストレスマネジメント」と題し、また、二日目(7月14日)は、臨床看護学講座(母性・助産)の渡邊教授から「若い女性の健康が次世代に及ぼす影響」と題し、それぞれ専門分野の内容を高校生が親しめるよう配慮のうえ、わかりやすく解説いただき、最後には進路先としての本学のPRもしっかりと行っていただきました。

参加者は看護系への進学を志望していることもあり、いずれも熱心に聴講し、終了後には質問もありました。

また、二日目には、同校の辻校長にもお越しいたごき、終了後にお礼のご挨拶を頂戴しました。

本学スクリーニング(放射線量測定)チーム2が活動を終えて帰学

H23.07.17



川内村体育館内の様子



現地の様子

本学は、文部科学省からの要請を受け、7月13日(水)から17日(日)までの5日間、放射線技師1名(福嶋 英人)、技術職員1名(飯島 圭)の2名で編成するスクリーニング(放射線量測定)チーム2を福島県へ派遣しました。

現地では、福島県庁を拠点に、双葉郡川内村の川内村体育館、南相馬市の馬事公苑を巡回し、1152名の一時帰宅者に対してスクリーニングを行いました。

“臨床教育看護師育成プラン”フォーラム「臨床での看護師教育を改革するために」を開催

H23.07.23

7月23日(土)『文部科学省大学推進事業～看護師の人材養成システムの確立』において本学が取り組んでいる“臨床教育看護師育成プラン”フォーラムを開催しました。

柏木病院長から開会のご挨拶の後、藤野みつ子看護部長より臨床教育看護師育成プランの事業概要について報告がありました。

後半は、「臨床での看護師教育を改革するために」というテーマでシンポジウムを行いました。滋賀県健康福祉部

医務薬務課中西京子副参事が「看護教育の現状と今後」、本学看護学科学科長瀧川薫教授が「基礎教育の立場から」、京都府立医科大学附属病院橋元春美副看護部長が「京都府立医科大学附属病院の取り組み」、本院看護臨床教育センター澤井信江センター長が「本学の取り組み」について発言したのち、参加者と活発な意見交換を行いました。特に学外の看護教員には、今後の本学の取り組みに大きな期待をしていただいたようでした。



柏木病院長の挨拶

『全国国公立・有名私大相談会2011 in 大阪』に出席

H23.07.24



相談会の様子

本学では入試にかかる広報活動の一環として、去る7月24日(日)大阪市の大阪国際会議場で開催された『全国国公立・有名私大相談会2011 in 大阪』に出席し、本学志望の学生や保護者40名から入試やカリキュラム、学生生活等にかかる個別相談を受けました。
 なお、今後下記の3カ所で開催される、学外入試ガイダンスに出席の予定です。

9月24日(土)
 進学 EXPO 2011 in KANSAI(大阪市)
 10月23日(日)
 全国国公立大学医学部医学科説明会(大阪市)
 11月23日(祝・水)
 医進フェスタ2011医学部医学科進学説明会(大阪市)

平成23年度滋賀医科大学奨学金授与式を行いました

H23.07.25

本学では、毎年度、学部学生の各学科・各学年の成績優秀者1名(2年生以上)に対し、月額5万円の奨学金を1年間支給しています。

7月25日に平成23年度滋賀医科大学奨学金授与式(於管理棟中会議室)を行いました。今年度の奨学金受給者は次のとおりです。

医学科	第2学年	沖 達也
医学科	第3学年	田村 亮太
医学科	第4学年	下畠 幸香
医学科	第5学年	川口 高朗
医学科	第6学年	清水 哲
看護学科	第2学年	吉川 芙蓉
看護学科	第3学年	渡邊 奈利子
看護学科	第4学年	谷川 温子



奨学生を囲んで

医学科オープンキャンパスを開催

H23.07.28



学長の挨拶

去る7月28日(木)午後から、医学科オープンキャンパスを開催しました。当日は、県内外から高校生、保護者等合わせて375名の方にご参加いただきました。

学長のあいさつに続き、大学の概要を映像で紹介、入試情報やカリキュラムの説明に引き続き、「『疫学』とは何か：病気の原因を探る医学研究」「睡

眠科学の進歩」と題した模擬講義により、実際の大学講義を肌で体験していただきました。

希望者を対象に実施している学内施設見学には、100名近い方に参加していただき、大好評でした。また、個別相談コーナーにも多くの方にご参加いただきました。

スーパーサイエンスハイスクールコアSSH事業を実施

H23.08.02

平成23年度のスーパーサイエンスハイスクールコアSSH事業における高大連携講座「Shiga Science Project 2011 夏季大学セミナー」が滋賀県教育委員会から依頼を受けて、8月2日(火)に、本学のB講義室及び顕微鏡実習室で実施されました。

膳所・石山・虎姫・守山・安曇川の各高校から、合計36名の2年生と、教員18名の計54名の参加がありました。

服部副学長と膳所高校・淵田学校長から激励の挨拶があった後、午前は、解剖学講座(生体機能形態学)の宇田川教授による「人体の正常構造 -

マクロからマイクロへ -」と題した講義と実習、午後は、病理学講座(分子診断病理学)の杉原教授による「人はどのようにしてがんで亡くなるのか」についての講義と実習が行われました。

いずれの実習も、組織や細胞を、電子顕微鏡ではなくバーチャルスライドを使ってミクロの世界に入り込んで観察するというもので、生徒はインターネット検索の感覚で興味深く学んでいました。

また、昼の休憩前には附属図書館の見学が、講座終了後には中庭で記念撮影が、それぞれ行われました。



バーチャルスライド観察の様子

高大連携事業による授業と附属病院の見学を実施

H23.08.03



臓器の標本に見入る高校生



実習指導の様子

立命館守山高校との高大連携事業の一環として、8月3日(水)の午前に、病理学講座(疾患制御病理学)の伊藤准教授による「インフルエンザ」についての講義・実習が行われ、午後には、服部副学長の激励の挨拶の後、同講座(分子診断病理学)の杉原教授による「がんから見た医学」と題した講義・実習が行われました。

いずれも、2年生30人の参加で、B講義室での講義の後には、場所を顕微鏡実習室に移し、バーチャルスライドを使っての珍しい実習が行われ、生徒たちはミクロの世界に入り込み、熱心に細胞などを観察していました。

その後、午後3時頃から、附属病院の見学が2班に分けて行われました。

病院長補佐でもある医師臨床教育センターの太田病院教授と看護部・林副看護部長のお二人に、総合受付、検査部、リハビリテーション部、スキルズラボ、5A病棟(小児科)、展望レストランの6箇所を基本に案内していただきました。

各所においては、案内のお二人や関係の方々から、そこで行っている業務や特徴等について、わかりやすい説明を受けました。

今回は時間的な制約等から駆け足気味での見学となりましたが、それでも、参加の生徒からは、医学・医療関係への関心が更に高まったとの感想も聞かれました。

看護学科オープンキャンパスを開催

H23.08.03

8月3日(水)に看護学科オープンキャンパスを開催しました。当日は、県内外から高校生、保護者等合わせて310名の方にご参加いただきました。

午前中は、学長の挨拶に続き、大学の概要を映像で紹介、入試情報やカリキュラムの説明を行い、「子どもたちの健康を守る」と題した模擬講義も行いました。

午後は4つのグループに分かれて、受験生を対象にした見学実習(体験を含む)を行い、大好評でした。

教員や在学生が対応した個別進学相談コーナーにも多くの方にご参加いただきました。



見学実習の様子

第63回西日本医科学学生総合体育大会ヨット部門開会式に服部副学長等が出席

H23.08.04



服部副学長による開会式の挨拶



代表校による選手宣誓

8月4日(木)の午前9時から大津市柳が崎ヨットハーバーにて、第63回西日本医科学学生総合体育大会ヨット部門の開会式が本学の服部副学長、ヨット部顧問の内科学講座藤山教授等の列席の下、行われました。

開会式では、服部副学長から学生諸君の健闘、無事故と大会の成功を祈るという内容の挨拶がありました。

なお、今大会のヨット競技部門は大会当番校の大阪医科大学からの移管により、本学ヨット部が主管を務めることとなっています。

福島県へ本学スクリーニング(放射線量測定)チーム3を派遣

H23.08.11

本学は、文部科学省からの要請を受け、8月7日(日)から11日(木)までの5日間、放射線技師1名(今井 方丈)、事務職員1名(黒瀬 一清)の2名で編成するスクリーニング(放射線量測定)チーム3を福島県へ派遣しました。

現地では、福島県庁を拠点に、双葉郡広野町の広野中央体育館において、大熊町、富岡町への一時帰宅者に対しスクリーニングを行ないました。



派遣メンバー



スクリーニング打合せ
(リハーサル)

虎姫高校との高大連携講座を開催

H23.08.17~18



松浦教授の講義



生理学実習の様子

8月17日(水)・18日(木)の両日、平成20年7月に協定を締結し今年で4回目となる虎姫高校との高大連携講座を本学で開催し、同校の生徒36名が借上バスで来学し、講義等を受講しました。開講に当たっては、服部副学長と虎姫高校・西嶋学校長から、それぞれ激励のご挨拶をいただきました。

1日目の午前は、地域生活看護学講座 安田 斎 教授による「地域医療の現状と課題」、病理学講座(疾患制御病理学)伊藤 靖 准教授による「インフルエンザ」についてそれぞれ講義が行われ、午後は、病理学講座(分子診断病理学)杉原 洋行 教授により「ガンから見た医学」と題し、講義と顕微鏡実習室におけるバーチャルスライドを使つての演習が行われました。

2日目は、医学コース(27名)と看護学コース(9名)に分けて講義や実習を

行いました。

医学コースは、生理学講座(細胞機能生理学)に担当いただきました。「ラット心臓を用いた心臓拍動の調節」について、松浦 博 教授による講義の後、場所を生理系の実習室に移し、ラットの心臓を取り出す様子を生で見学した後、同講座の先生方の指導のもと、テーマに沿った実習を行いました。

看護学コースでは、臨床看護学講座 瀧川 薫 教授による「医療におけるコミュニケーションの必要性」、基礎看護学講座 加藤 圭子 教授による「人間の24時間の生活と看護」、臨床看護学講座 太田 節子 教授による「後輩のみなさんへ-看護職とは-」についてそれぞれ講義が行われた後、太田教授の案内で、看護学科棟にある看護実習室(老人)等を見学しました。

参加生徒は、皆、真剣に取り組み、どの授業でも教員へ盛んに質問をしていました。

膳所高校との高大連携事業で実験実習を行いました

H23.08.19

膳所高校との高大連携事業として4月から毎月1回講義を受けに来ている同校2年生の生徒が、夏休みの期間を利用して、8月19日(金)に実験実習のため本学へ来ました。

服部副学長と膳所高校・音野教頭からのご挨拶の後、授業に移りました。

生化学・分子生物学講座(分子生理化学)に担当いただき、「ニワトリ肝臓

の乳酸脱水素酵素の働きを測る」と題して、堀池 喜八郎 教授によるミニレクチャーの後、場所を生化学系の実習室に移し、同講座の先生方の説明・指導のもと、テーマに沿った実験実習を約半日かけて行いました。

参加生徒たちは、講義とは違った場所と雰囲気戸惑いながらも、熱心に指導を受けていました。



生化学実験実習の様子

滋賀短期大学との共催公開講座を開催

H23.08.20



渡邊教授の講演

平成20年10月に教育研究協力に関する包括協定を締結した滋賀短期大学との3回目となる平成23年度の共催公開講座を8月20日(土)に同短大を会場に開催しました。

3回目となる今回は、服部副学長の開会のご挨拶に続き、講演の部として、本学看護学科 臨床看護学講座 渡邊 浩子 教授による「見直そう、あなたの食生活: 将来、元気な赤ちゃんを産むために!」と題した講演が行われ、一般の方々の他、同短大の教員や学生等、約40名の参加者に聴講していただきました。

その後、場所を移動し、調理実習の部として、「食事で健康! 未来に備え

てスローフードエブリデー」をテーマに、同短大 生活学科 中平 准教授からレクチャーが行われた後、予め作成された朝昼晩の3食のメニュー調理のため、15名の参加者に3班に分かれていただき、生活学科の先生方の他、在学生にも協力いただき、調理の指導を受けていただきました。料理完成後には、互いに感想を述べ合いながら和気あいあいとした試食を行いました。

なお、閉会に当たっては、短期大学の越後副学長からご挨拶がありました。

また、この調理実習の部には、びわこ放送の取材があり、同日夕方のニュースで放映されました。

滋賀医科大学同窓会「湖医会」の関東支部会が開催されました

H23.08.20

滋賀医科大学同窓会「湖医会」の関東支部会が8月20日(土)品川プリンスホテル「品川大飯店」で卒業生や学生の参加をえて、盛会に開催されました。

幹事の久保田亘氏(1期生)の開会の挨拶の後、馬場学長から「本学の近況」が、医大ニュースの最新版を含め資料と共に報告されました。また、第二期目のSUMSプロジェクトと共に

「わかあゆ夢基金」による教育研究支援へのお願いがありました。続いて、武蔵野赤十字病院消化器科部長 朝比奈靖浩先生(8期生)から、「肝臓病診療の未来 肝炎・肝がんの制圧をめざして」が行われ、先生ご自身の最新の臨床研究の成果が紹介されました。

その後、懇親会が行われ、久し振りに会う卒業生同士の情報交換が行われました。



下田教授・馬場学長

第2回小児科サマーキャンプを行いました

H23.08.26~27



バームクーヘン作りました

去年に引き続き、今年も小児科サマーキャンプを行いました。期間は8月26日(金)から一泊二日、場所も去年と同様、グリム冒険の森(滋賀県蒲生郡日野町)で行いました。参加者は25家族、60人、医療者スタッフ、学生ボランティアを含めると100人以上の大規模なキャンプとなりました。

内容は、流しそうめん、バーベキュー

ー、魚釣り、キャンプファイアー、木工作り、バームクーヘン作りと盛り沢山で、患児、御家族、ボランティアが一体となり、大変素敵な時間を過ごすことができました。

病を克服した子供達の生き生きとした笑顔は、御両親はもちろん医療者にとっても大切な宝物です。来年も多くの御参加をお待ちしております。

第17回 社会福祉研究交流集会にて本学学生が報告

H23.08.28

第17回社会福祉研究交流集会が8月29日京都で開催され、本学5回生の犬飼公一君が日ごろの課外活動の成果を報告しました。

犬飼君は、滋賀医科大学公認ボランティア団体「Atlas」の代表として Atlas が取り組んでいる、大津市の「貧困の連鎖を止める」中学3年生に対する高校進学支援事業の内容と成果・今後の課題などについて報告しました。



参加者の集合写真



報告する犬飼君

「第8回 医師臨床研修協議会」を開催

H23.09.02



東日本大震災被災者へ黙祷を捧げる参加者



服部副学長の挨拶

去る9月2日(金)に滋賀医科大学が当番校として、国立大学附属病院長会議の下部組織である医師臨床研修協議会(会長:小西靖彦 京都大学大学院医学研究科 医学教育推進センター長)の「第8回 医師臨床研修協議会」を、ホテルポストプラザ草津にて開催しました。

当日は台風12号が接近する中での協議会となりましたが、文部科学省高等教育局から小野賢志医学教育課課長補佐(併)卒後臨床教育推進専門官と同課病院第一係早川慶係長が、厚生労働省医政局からは佐藤愛医事

課医師臨床研修推進室医師臨床研修専門官が出席されたほか、全国42国立大学から39大学の関係者など約80名が集まり、小西会長および柏木厚典本学附属病院長の挨拶の後、医師臨床教育センター太田センター長が議長を務める中、医師臨床研修の動向と今後の課題について活発な意見交換を行いました。

協議会終了後に開かれた情報交換会には、小野医学教育課課長補佐、佐藤医師臨床研修専門官も出席し和やかな雰囲気のもと有意義な情報交換を行いました。

ヨット部故 嶋岡秀典君の慰霊式を挙行

H23.09.04

去る平成4年9月11日(金)午後4時50分に琵琶湖で不幸にも遭難した故嶋岡 秀典 君の慰霊式を、9月4日(日)の11時から行いました。

今回は台風12号の影響を考慮して、会場をクリエイティブモチベーションセンターに移し、実施しました。嶋岡

さんの御家族、服部副学長、ヨット部顧問の藤山内科学講座教授、ヨット部OB 他関係者約40名の列席があり、大学関係者の挨拶の後、ヨット部主将の医学科第3学年 成田 雄亮君から部活の安全対策に対する誓いの挨拶が行われました。



服部副学長の挨拶

第26回滋賀医科大学公開講座を開催

H23.09.05~09



受講の様子



受講者代表の方に
修了証書の授与

『大丈夫？あなたの肺と心臓は、』をメインテーマに、第26回滋賀医科大学公開講座を、草津市立まちづくりセンター(3階会議室)を会場として開催しました。

今回は次のとおり3日間で計7名の先生に講師を務めていただき、時間は、毎回、午後6時～午後8時での開催でした。

いずれも工夫を凝らしたスライド提示のわかりやすい講演で、延べで170名を超える受講生の皆さんは、熱心に聴講され、活発な質問もありました。

9月5日(月){1回目}

・呼吸器内科 中野 恭幸 講師
「肺の生活習慣病 - 慢性閉塞性肺疾患(COPD)について - 」

・呼吸器内科 山口 将史 助教
「気管支喘息について」

9月6日(火){2回目}

・内科学講座(循環器) 伊藤 誠 准教授
「不整脈とは？心房細動について」
・循環器内科 芦原 貴司 助教
「突然倒れたら、息切れがしたら・・・心室細動と心不全」

9月9日(金){3回目}

= 心臓手術治療最前線 =
・心臓血管外科 鈴木 友彰 講師
「心臓手術は恐ろしい??」
・心臓血管外科 乃田 浩光 医員
「大動脈瘤に対する治療 ステンドグラフト VS 人工血管置換術」
・外科学講座(心臓血管) 浅井 徹 教授
「冠動脈疾患の最新の治療選択の考え方 切り札としてのバイパス手術 賢い患者になるための基礎知識」

「第7回滋賀医科大学医師臨床研修指導医講習会」を開催

H23.09.17~18

平成23年9月17日(土)、18日(日)の2日間にわたり、滋賀県立県民交流センターで第7回滋賀医科大学医師臨床研修指導医講習会を開催しました。当日は6名のタスクフォースの先生方にご協力いただき、本学および協力病院から17名の先生方が受講されました。

講習会は厚生労働省が示す「医師の臨床研修に係る指導医講習会の開催指針」に基づき、「理想的な初期研修指導技法の開発」をテーマとし、研修医に対し適切な臨床教育を推進することを目標に開催されました。

グループワークでは4～5人のグループに分かれ、臨床研修指導の問題点、目標や方略などについて活発な議論が行われました。

また、臨床現場における指導医と研修医のやり取りをロールプレイで行い、指導医の適切な指導の仕方について議論しました。

2日目の閉会式では、受講者に修了証書が授与されました。



太田センター長の開会挨拶



グループごとの全体発表

高大連携事業で膳所高校の1年生が講義と実習を受けました

H23.09.20



埜田准教授の講義



生理学実習の様子

9月20日(火)に膳所高校の理数科1年の生徒39名が講義と実習のため本学に来ました。同校の2年生は基礎医学講座受講のため4月から何度か来学していますが、1年生は初めてです。

服部副学長と膳所高校・澁田学校長からご挨拶をいただいた後、社会医学講座(衛生学)・埜田准教授による「医師の使命と働きがい」と題した講義を受講しました。その後は、生理学講座(細胞機能生理学)に担当いただき、「ラット心臓を用いた心臓拍動の調節」

について、松浦教授による講義室での説明の後、場所を生理系の実習室に移し、ラットの心臓を取り出す様子を生で見学した後、同講座の先生方の指導、大学院や医学科の学生らの協力のもと、テーマに沿った実習を行いました。

参加生徒は、皆、熱心に取り組み、講義・実習のいずれにおいても積極的に質問をしていました。また、実習においては、引率の先生方と本学教員との間で意見交換も行われていました。

石山高校の1年生が大学見学会として本学を訪れました

H23.09.22

9月22日(木)に、石山高校の1年生34名が将来の進路意識を高めるため、総合的な学習の時間を利用して、大学見学会として本学を訪問しました。

服部副学長から歓迎のご挨拶をいただいた後、看護学科 臨床看護学講座(母性・助産)の岡山准教授による「親になる人への支援 - 周産期の親子関係 - 」と題した講義を受けました。講義の中では先生から時折質問が投げかけられ、戸惑いながらも高校生らしい発言をしていました。

その後は、2班に分かれて施設見学を行いました。見学場所は、実験実習支援センターの電子顕微鏡室と附属図書館でした。センターでは磯野准教

授他センターの方々から詳しい説明がありました。

また、図書館では2グループに分かれ、図書課の職員の方に1階と2階の主なエリアを案内のうえ説明していただきました。

見学後は、福利棟食堂で昼食をとり、午後の訪問先である立命館大学(BKC)へ徒歩で向かいました。

参加生徒はまだ1年生で、進路先を明確にしている生徒は少なかったようですが、大学の教育の一端や施設、学生生活の雰囲気を少しは感じ取った様子でした。



岡山准教授の講義



電子顕微鏡室(磯野准教授)

イノベーション・ジャパン 2011 - 大学見本市に出展 同時開催 第 10 回産学官連携推進会議

H23.09.20



出展ブース全景

9月21日から22日の2日間東京国際フォーラムにて、「イノベーション・ジャパン 2011 - 大学見本市」と第10回産学官連携推進会議が同時開催されました。

イノベーション・ジャパンは、産学連携を生み出す見本市として、8回目の今回は、「知を結ぶ。 - 未来の芽を育てよう - 」をテーマに展示会と各種プレゼンテーションが開催されました。本学からは、動物生命科学研究センター及び外科学講座が、以下のテーマの研究内容を展示・発表致しました。

1. 移植免疫寛容 MHC ホモ・カニクイザルの医学研究への活用
2. MR画像誘導下手術システム - 被爆の無い手術システム -

両テーマともユニークな内容で関心を呼び、展示ブースは大盛況で、9月21日には、奥村 展三 文部科学副大臣の熱心な視察を受けました。

今後は、この研究成果を実用化に向けてさらに発展させて行くための取り組みが重要です。

業務改善発表会を実施

H23.09.30

学内各部署における業務改善の取組や提案について、相互に理解を深め、活用することを目的に実施しています。

今年度は、「業務改善発表会Webサイト」を開設し、9月22日～29日まで展示を行い、9月30日午後2時から、発表者の説明及び全体討論会が行われました。

それを受け、学内外4名の審査員による審査が実施され、全17件の発表の中から、各賞が以下の通り選出されました。

最優秀賞

・麻酔科、手術部、薬剤部 合同チーム
「手術室サテライトファーマシー開設～麻酔時使用薬剤についての改善～」

優秀賞

・病院管理課
「文書ファイル整理術 ～ちょっとした工夫で3つの効果～」
・看護部手術部
「手術患者入退室方法変更の取り組み」
・総務課
「すぐに診察に入れます」のその後」



発表者による説明



全体討論の様子

平成 23 年 10 月 ~ 12 月の行事予定

- 10月13、20、27日 第27滋賀医科大学公開講座
 10月27日 解剖体慰霊式
 10月28日~31日 学園祭(若鮎祭)
 10月30日 第6回滋賀県脳卒中市民公開講座「脳卒中の予防と治療」

大学概要



所在地：
 〒520-2192
 滋賀県大津市瀬田月輪町

開学：
 1974年10月1日

活動内容：
 教育・研究・診療

役員：
 学長 馬場忠雄
 理事(教育等) 服部隆則
 理事(医療等) 柏木厚典
 理事(経営等) 村山典久
 理事(総務等) 谷川成美



担当

企画調整室

TEL: 077-548-2012 FAX: 077-543-8659

本学 Web サイト URL:
<http://www.shiga-med.ac.jp/>

E-MAIL:
hqkouhou@belle.shiga-med.ac.jp

報道された滋賀医科大学 (平成 23 年 7 月～平成 23 年 9 月)

教育関係

2011/09/18	中日	入試要項
2011/09/07	読売	2012 年度 国公立大学 入試要項
2011/08/29	朝日	経済的ハンディに希望 学生支援サークル「Atlas」 犬飼公一さん
2011/08/22	近江毎夕新聞	医学生が呼びかけ闘病記文庫 滋賀医科大学 入院患者の手記も
2011/08/16	朝日	2011 国立大学入試要項
2011/07/13	読売	大学の实力調査 学部別就職状況 国
2011/07/07	京都	貧困断ち切る学びの“連鎖” 滋賀医科大学生、全国ネット設立
2011/07/07	京都	貧困断断ち切る学びの「連鎖」

研究関係

2011/09/30	京都	わさびで聴覚障害者に「火災だ」 イグ・ノーベル賞に滋賀医大講師ら
2011/09/30	毎日	わさびの香りで火災警報
2011/09/30	読売	鼻にツーン...火災だ わさび報知機イグ・ノーベル賞
2011/09/30	朝日	就寝中火事 わさびで警告
2011/09/30	日経	わさびの火災報知機
2011/09/21	日経プレスリリース	アステラス製薬、SGLT2 阻害剤「イブラグリフロジン」の有効性と安全性を確認
2011/09/14	マイコミジャーナル	横浜市大ら、高血圧症の成因に関与する遺伝子を世界規模のゲノム解析で解明
2011/09/13	京都	高血圧の原因 遺伝子を発見 滋賀医大など
2011/09/13	産経 web	世界 10 億人超...高血圧症の遺伝子を解明 愛媛大・阪大など国際研究チーム
2011/07/07	朝日	頭頸部がん 抑制成功 ヒトでの効果確認
2011/07/04	日経	アルツハイマー 進行促す物質特定
2011/07/04	朝日	非遺伝性の患者で原因物質 = アルツハイマー、早期診断期待 - 理研や同志社大など
2011/07/01	日経	高血圧 異変は「最低値」の上昇から
2011/07/01	日経 web 版	高血圧、異変は「最低値」の上昇から

病院関係

2011/09/08	毎日	的確な薬剤投与で救命
2011/08/27	中日	家庭医の育成視野に 東近江 2 市立病院体制整備委
2011/08/26	毎日	蒲生病院診療所化 13 年度からで一致
2011/08/26	京都	東近江市公立病院再編 蒲生病院に「家庭医」
2011/08/24	日経	医療機器参入 中小を後押し 自治体、大学などに橋渡し
2011/08/02	京都	糖尿病が外科で治る
2011/07/18	日経	入院患者の昼食 地元農作物で 滋賀医大病院
2011/07/18	中日	助産師の育成 施策に反映へ 大津市で意見交換 知識が意欲
2011/07/17	日経	交代勤務で時差ボケ 疲れや眠気 事故のもと
2011/07/03	読売	病院の实力 42 うつ病

社会連携

2011/09/25	京都	男女共同参画セミナー「地域防災を考える」
2011/09/17	毎日	シンポジウム「うつを知る」
2011/09/16	朝日	公開講座「脳卒中の予防と治療」
2011/09/11	京都	JCPTD シンポジウム 「うつをこえて」
2011/08/27	中日	施設の活用策探る びわこ公園都市検討委員
2011/08/24	asahi.com	減塩の野菜摂取 普及へ県民大会
2011/08/12	朝日	クローン病潰瘍性大腸炎医療講演会
2011/08/02	中日	滋賀医科大と滋賀短大 食生活がテーマ 20日に公開講座
2011/07/15	読売	第15回小児アレルギー夏期ゼミナール
2011/07/09	読売	小児アレルギー 24日ゼミナール 滋賀医大で
2011/07/08	朝日	公開講座「小児アレルギー夏期ゼミナール」

その他

2011/09/30	京都	原発から自然エネルギーへ 湖国発 復興の種育て
2011/09/07	産経	近江人巡り 不安を共有し、安心を 押栗 泰代さん
2011/07/30	読売	「心」と「体」に効く、睡眠の力